



# あかね文庫お話しの会 おひさまだより



## 絵本アンケート

“ボランティアの方に ききました、  
子どもの頃好きだった絵本”

☀️ お話しボランティア Nさん  
好きな絵本 『百まいのきもの』  
... 改定版『百まいのドレス』

『百まいのきもの』を手にしたのは、大人になってから子どもと一緒に読みました。私の方が胸がいっぱいになり、しっかり生きようと思ったことを覚えています。

その本が50年ぶりに改訳されて『百まいのドレス』に生まれ変わりました。訳者の石井桃子さんがどうしても今の言葉で子どもたちに届けたいと、100歳を前にして訳し直された最後の絵本です。どうぞ大人も子どもたちも読んで(読んでもらって)、いろいろなことを想像して感じてください。



## えほんの紹介

### 「百まいのドレス」

エレナー・エステス作 石井桃子訳  
岩波書店

ワンダは貧しいポーランド移民の女の子です。

「百まいのドレス」をもっているといいはり、同級生たちから一層からかわれます。マディランはからかうのはいけないことと思いつつも止める勇気ができません。ある日、突然ワンダは遠くの町へ引っ越してしまいます。みんながびっくりするほど美しい百まいのドレスの絵を残して.....

どんなところでもだれにでも起こりうる差別や少女たちの心の葛藤が、きめ細かくやさしく描かれていて、深い感動を呼び起こします。スロボドキンのしっとりとしたさし絵も物語によりそい、さらに改訂版で美しくなりました。訳者の石井桃子さんは「ワンダにもマディラインにも、そしてどの子どもにも生きていく世界がもっと明るい世界でありますように」と祈りながら訳していたそうです。読んだ後ほっとあたたかい気持ちになるのは、そんなメッセージが秘められているからなのですね。

## 小さなおともだち 広がる絵本の世界！

Rちゃんは絵本が大好きで、特にお気に入りにはネコの出ている絵本です。『ねこのおすしやさん』は何回も楽しみました。読み終わった後で、Rちゃんは「おすしはマグロが一番好き！」と教えてくれました。いつもリクエストはネコの絵本で、ブレイルームにあるネコの登場する絵本はほとんど見てしまいました。でも、この頃はネコの出ない他の絵本も楽しむようになって、絵本の世界がぐっと広がりました。Rちゃん、これからもいろんな絵本と一緒にたのしみましょね。。